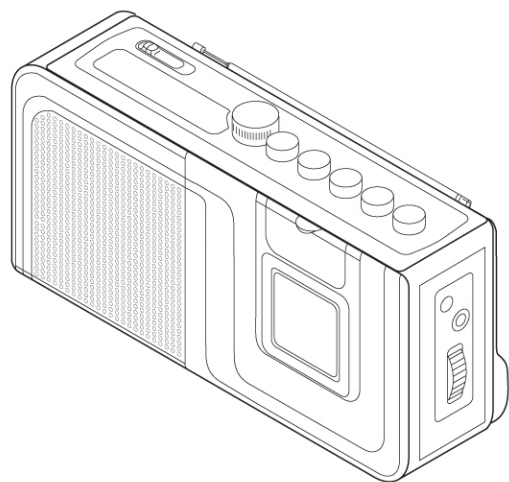


ポータブルラジオカセットレコーダー

品番 **AG-CR11****取扱説明書**

このたびはお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- この商品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に「取扱説明書」を最後までよくお読みください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保存してください。

**も く じ**

- ◆安全上のご注意・・・・・・・・・・ 2
- ◆ご使用にあたってのお願い・・・・ 5
- ◆各部の名称と使いかた・・・・・・ 6
- ◆ご使用前の準備・・・・・・・・・・ 8
 - 電源について・・・・・・・・・・ 8
- ◆基本的な使いかた・・・・・・・・・・ 10
 - ラジオを聞く・・・・・・・・・・ 10
 - カセットテープの準備・・・・ 13
 - カセットテープを再生する・・ 14
- ◆録音する・・・・・・・・・・ 16
 - ラジオ放送を録音する・・・・ 16
 - 音声を録音する・・・・・・・・ 17
- ◆お手入れ・・・・・・・・・・ 18
- ◆著作権について・・・・・・・・・・ 18
- ◆修理を依頼される前に・・・・ 19
- ◆仕様・・・・・・・・・・ 20
- ◆保証とアフターサービス・・・・ 20

家庭用

この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源、電圧が異なりますので使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

ご使用前に、必ずお読みください。また、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

*ここに示した注意事項は、本製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を『警告』と『注意』に区分しています。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味と例

	○ 記号は、「してはいけないこと」を意味しています。 図の中に具体的な禁止内容(左図は分解禁止)が描かれています。
	● 記号は、「しなければならないこと」を意味しています。 図の中に具体的な指示内容(左図は差し込みプラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告

 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電・火災の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、差し込みプラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
 プラグを抜く	お手入れの際は必ず差し込みプラグをコンセントから抜く 感電・けがの原因になります。	 使用禁止	幼児の手の届く範囲で使用しない 感電・けがの原因になります。
 禁止	本体のすきまにピンや針金などの異物を入れない 感電やけが、火災の原因になります。	 禁止	本体に乗ったり傾けたりしない けがの原因になります。
 使用禁止	電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。	 使用禁止	交流 100V 以外では使用しない 火災・感電の原因になります。
 分解禁止	改造はしない。また、修理技術者以外の人、分解したり修理をしない 火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。(→20 ページ参照)	 プラグを抜く	異常時(こげくさいなど)は、運転を停止して差し込みプラグを抜く 異常のまま運転を続けると火災や感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。(→20 ページ参照)

警告



禁止

雷が鳴りだしたらアンテナや電源プラグに触れない
感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

注意

プラグを持って
抜く

差し込みプラグを抜くときは電源コードを持たずに、必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜く
コードが劣化してショートや発火の原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く
けがややけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



禁止

不安定な場所には置かない
転倒してけがの原因になります。



禁止

ベンジンやシンナーでふいたり、殺虫剤をかけたりしない
ひび割れによるけが・ショートによる感電・引火による火災の原因になります。



使用禁止

油成分が浮遊している場所では使用しない
ひび割れによるけがの原因になります。



プラグを抜く

長期間で使用にならないときは必ず差し込みプラグをコンセントから抜く
火災の原因になります。



プラグの点検

ときどきは電源コンセントや差し込みプラグの点検を

コンセントにほこりがたまっていると湿気が加わることで電流が流れ、火災の原因になることがあります。差し込みプラグが外れかけていたり、破損したりしている場合は特に危険です。

◆思わぬ事故を防ぐために・・・

●コンセントの周りにほこりをためないようにときどき掃除をする。

●差し込みプラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。

●コンセントや差し込みプラグに異常がないか確かめる。



使用禁止

浴室など高温・多湿・水のかかる場所では使用しない
漏電して感電・火災の原因になります。



音量に注意

電源を入れる前に音量を最小にする
突然の大きな音で耳を痛める原因になります。

電池について安全上のご注意

電池の液漏れ・破裂・発火・発熱・誤飲などによる事故を防ぐための重要な内容ですので、必ず守ってください。

 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

危険

- 万一電池が液漏れしたときは、電池に触れない
液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受けてください。
- 幼児の手の届くところに置かない
飲みこむと、窒息などの原因になります。飲み込んだときは直ちに医師の治療を受けてください。

警告

- 火中に投じない
- 分解・加熱しない
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる
- 充電しない
- 電池をショートさせない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の異なる電池を混ぜて使用しない

注意

- 指定された種類以外の電池は使用しない
- 火のそばや直射日光のあたるところ炎天下の車中などに放置しない

ご使用にあたってのお願い

使用場所についてのお願い

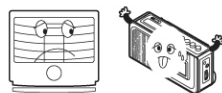
- 水平で安定した場所でご使用ください。
- 本機のスピーカーは防磁タイプではありません。磁気の影響を受けやすいテレビなどから遠ざけてご使用ください。誤動作・故障の原因になります。
- 本機のスピーカーは強力な磁力を使用しています。次のようなものは本機のそばに置かないでください。
 - ・クレジットカードなどの磁気カード
 - ・カセットテープやビデオテープなどの磁気テープ
 - ・磁気の影響を受ける時計など

次の場所では使用したり設置しない

直射日光が当たる場所・車の中
変形・変色することがあります。



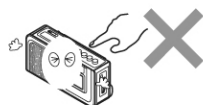
暖房器具の上や近く
変色や変形、故障の原因になります。



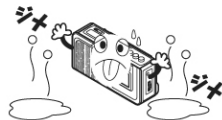
人がよく通るところ
ぶつかったり、電源コードに引っかかると、本体が倒れ、故障の原因になります。



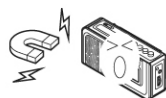
お子様の手の届くところ
本体のすき間に手や指をはさんで、けがの原因になります。



お風呂場など多湿で水がかかる恐れがあるところ
感電・故障・火災の原因になります。

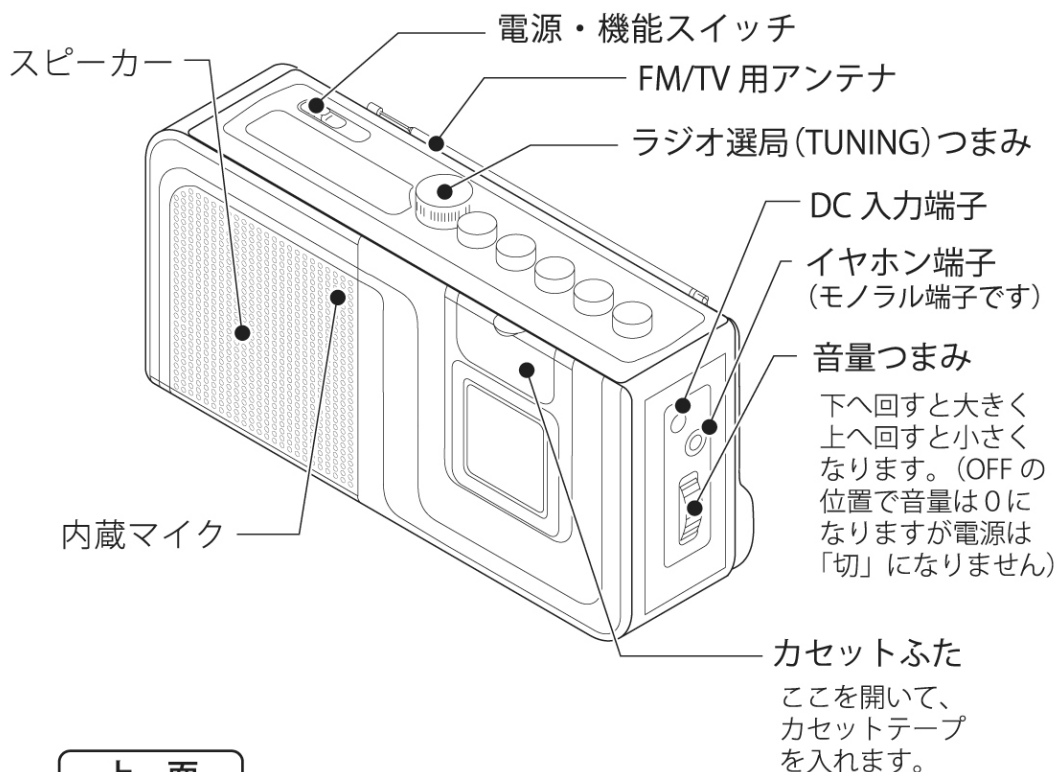


磁気の多いところ
録音済みのカセットテープの音声が消えたり誤動作の原因になります。

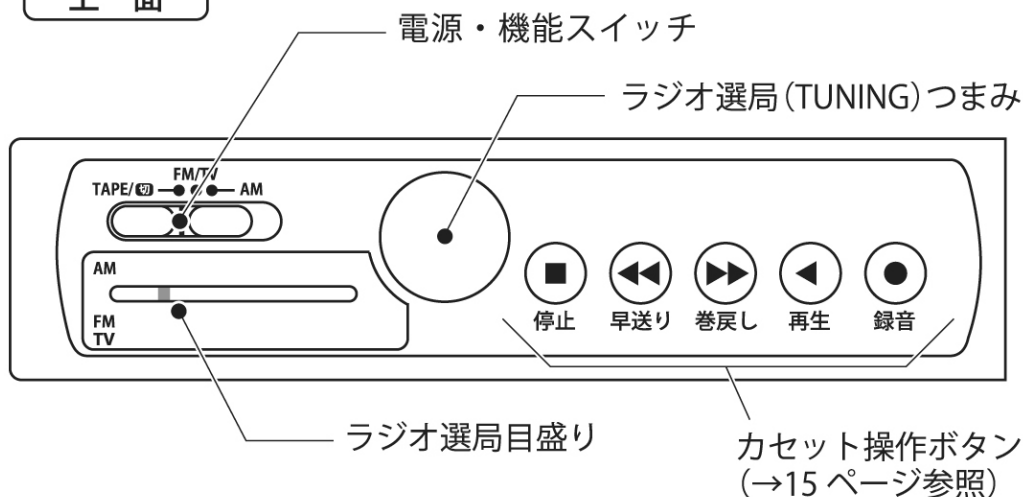


各部の名称と使いかた

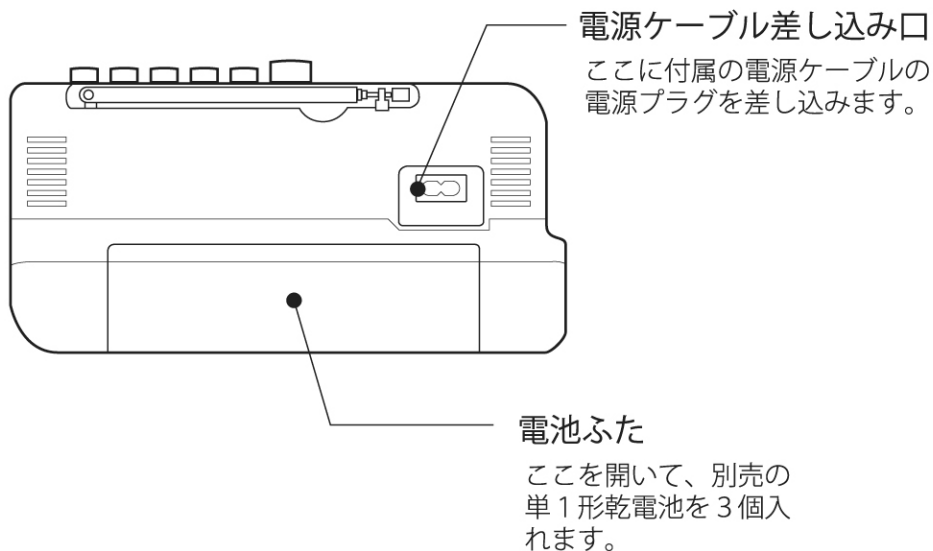
本 体



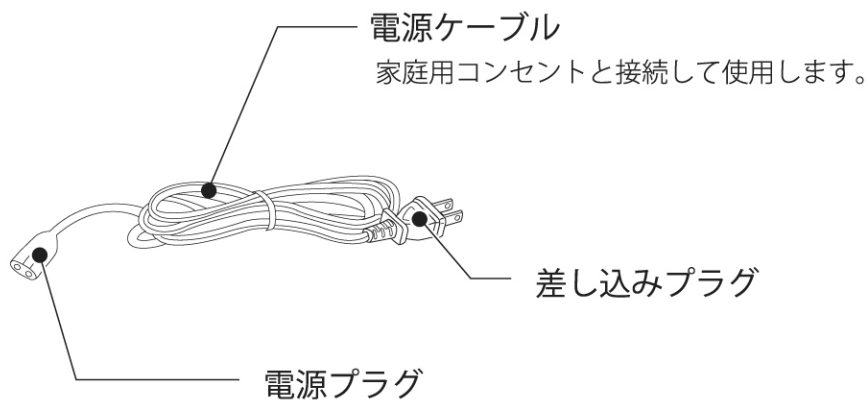
上 面



背面



付属品



ご使用前の準備

電源について

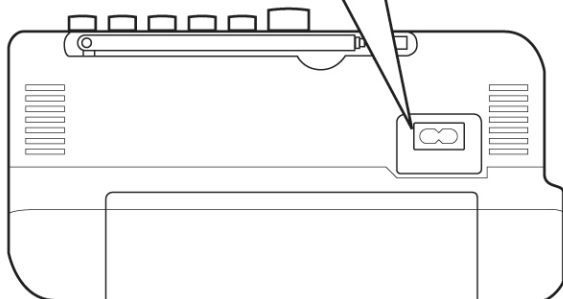
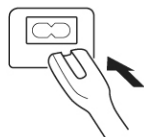
家庭用コンセント、別売の単 1 形乾電池（3 個）または別売の AC アダプターの**いずれかを選んで**ご使用になれます。

※別売の AC アダプターについては、サービスセンターにお問い合わせください。（→20 ページ）

■ 家庭用コンセントで使用する場合

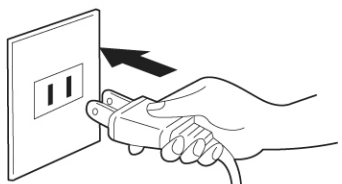
①

付属の電源ケーブルの電源プラグを本体背面の差し込み口 (AC-IN) に確実に差し込みます。



②

差し込みプラグを家庭用コンセント（交流 100V）に確実に差し込みます。



■ 単 1 形乾電池を使用する場合

乾電池を使用するときは電源ケーブルを本体に接続しないでください。

①

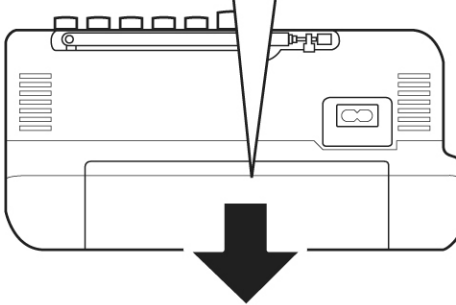
新品の単 1 形乾電池 (別売: アルカリまたはマンガン) 3 個を用意します。
充電式乾電池はご使用になれません。



異なる種類の電池を混ぜて使用しない
新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

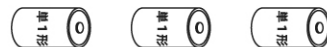
②

本体背面の電池ふたを取り外します。



③

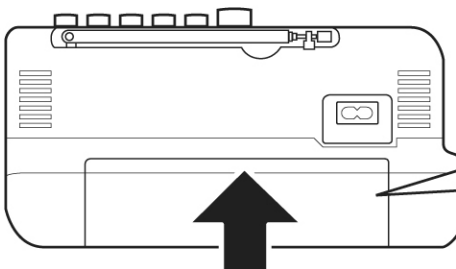
単 1 形乾電池を極性に注意して入れます。
(先に両側の電池を入れてから中央の電池を入れます。)



(-) (+) (-) (+) (-) (+)

④

電池ふたを取り付けます。



※ 電池を取り外すときは中央の電池を先に取り外します。

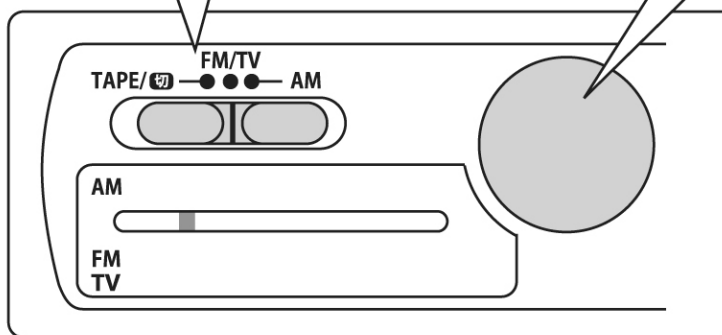
基本的な使いかた

ラジオを聞く

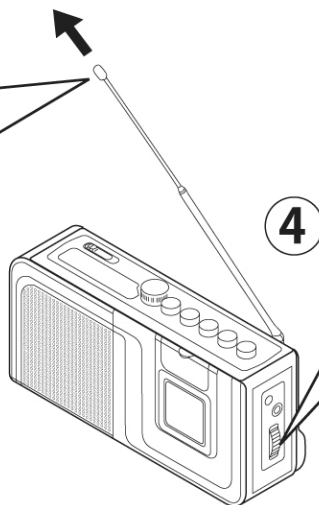
電源・機能スイッチを「FM/TV」または「AM」に合せると電源が入りラジオとしてご使用になれます。

- ① 電源・機能スイッチを「FM/TV」または「AM」に合せます。

- ③ ラジオ選局(TUNING)つまみを回して放送局の周波数を合わせます。



- ② FM放送やTV放送を聞く場合はアンテナを伸ばします。

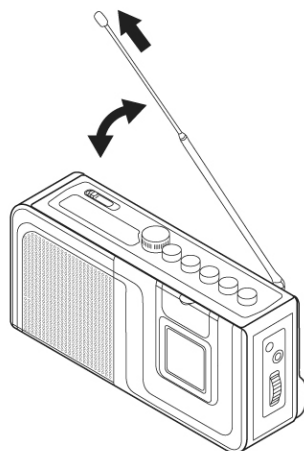


- ④ 音量調節ダイヤルで音量を調節します。

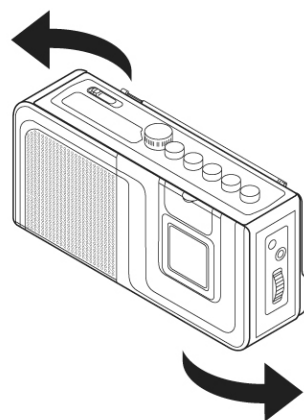
◆ アンテナの調整方法

FMラジオまたはTVの1～3chを受信するときはアンテナを伸ばし、アンテナの角度を変えて受信感度を調整します。

アンテナは上下方向の角度を変えることはできますが、水平方向に向きを変えることはできません。



AMラジオを受信するときは本体の向きを変えて受信感度を調整します。



◆ 受信感度について

乗り物や建物の中では電波が弱まります。このため放送が聞こえにくくなる場合があります。このような場合には窓際などへ移動してご使用ください。

テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入っている場合があります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くでFM放送を受信すると、テレビの画面が乱れる場合があります。このようなときは、本機をテレビから離してご使用ください。

TVの1～3chの受信はFM受信と兼用です。このため地域によってはTVの1～3chの受信が困難な場合やFM放送が混信する場合があります。

【テレビ放送の受信について】

2011年7月までに地上アナログテレビ放送の終了が国の法令で定められました。地上アナログテレビ放送終了後は、本機でテレビ音声を受信することはできません。

カセットテープの準備

◆ 正しく再生・録音できるカセットテープ

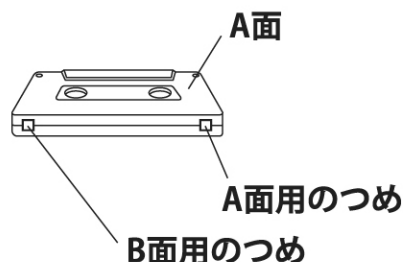
ノーマルポジション(TYPE1)のカセットテープを使用してください。ハイポジション(TYPE2)やメタルポジション(TYPE3)のカセットテープでは正常に再生や録音できません。

◆ 90分以上のカセットテープについて

テープが薄いため再生・停止・早送り・巻戻しなどの操作を頻繁に切り替えてご使用になるとテープが回転部に巻き込まれる場合がありますのでご注意ください。

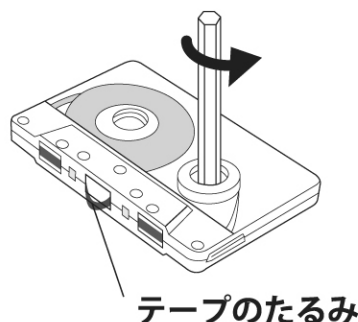
◆ カセットテープのつめ(誤消去防止)について

録音された音声を誤って消さないようにカセットテープにはつめ(誤消去防止)があります。大切な録音を誤って消さないようにつめを折り取ってください。つめを折り取ったカセットテープに再度録音する場合は、折り取った部分にテープなどを貼って穴をふさいでください。



◆ テープのたるみについて

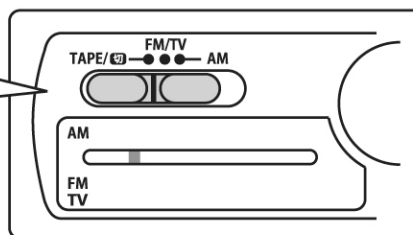
テープのたるみはあらかじめ巻き取ってからご使用ください。テープが回転部に巻き込まれる場合があります。



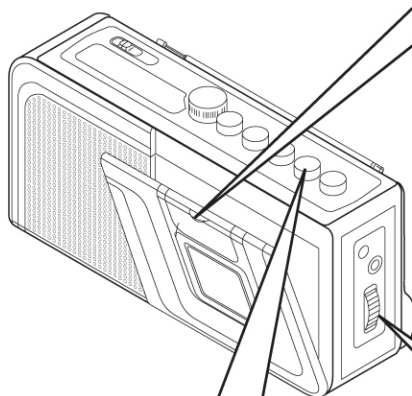
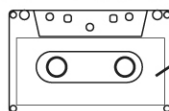
カセットテープを再生する

カセットテープを使用するときは、**電源・機能スイッチ**を「**TAPE**」に合せます。

- ① **電源・機能スイッチ**を「**TAPE**」に合わせます。



- ② カセットふたを開いて、カセットテープを入れ、カセットふたを閉じます。
(カセットテープは再生する面が前面になるように入れます)



- ③ **再生ボタン**を押します。

- ④ **音量調節ダイヤル**で音量を調節します。

再生しているカセットのテープが終わりになると自動的に再生が止まります。反対の面を再生するときはカセットを取り出して反対の面が前面になるように入れ替えてください。

◆ 操作ボタンについて

カセットテープを使用するときは、**電源・機能スイッチ**を「**TAPE**」に合せます。

停止(■)ボタン

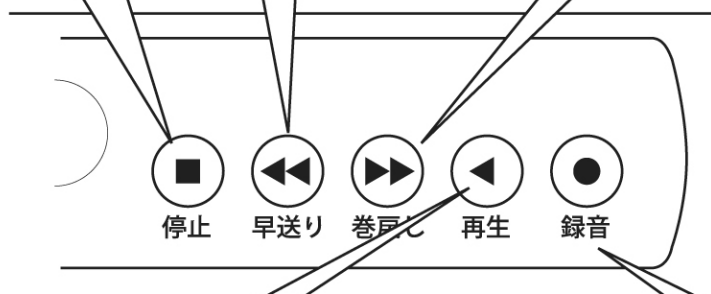
再生・早送り・巻戻し・録音を停止します。

早送り(◀◀)ボタン

早送りします。

巻戻し(▶▶)ボタン

巻戻しします。



再生(◀)ボタン

再生します。

録音(●)ボタン

録音ボタンを押すと、**再生ボタン**も一緒に押され録音を開始します。ラジオを聞いているときはその放送を録音します。

電源・機能スイッチが「**TAPE**」のときは**内蔵マイク**から周囲の音を録音します。

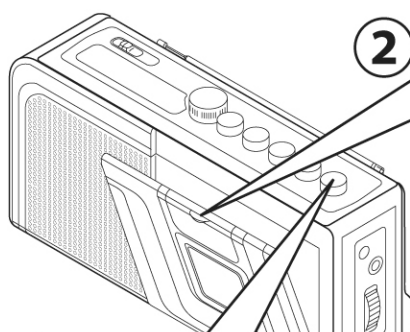
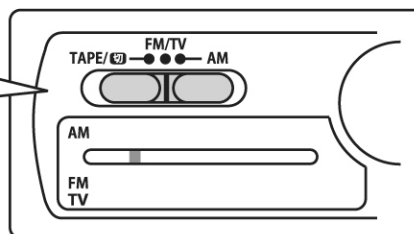
早送りと巻戻しはカセットテープが終わりになっても自動的に停止しません。早送りと巻戻し中にテープが止まりましたらすぐに**停止ボタン**を押してください。

録音する

ラジオ放送を録音する

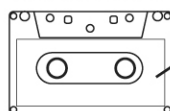
カセットテープを準備して、録音したい放送を受信しているときに**録音ボタン**を押すと、受信中の放送を録音することができます。

- ① 録音したい放送を受信します。



②

カセットふたを開いて、カセットテープを入れ、カセットふたを閉じます。
(カセットテープは録音する面が前面になるように入れます)



録音する面

- ③ **録音ボタン**を押します。



録音ボタンを押すと、**再生ボタン**も同時に押し込まれます。録音を停止するときは**停止ボタン**を押します。

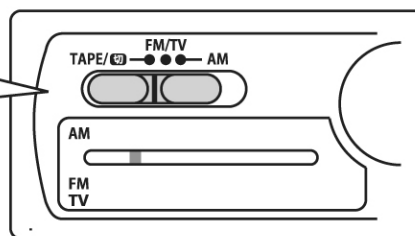
- 大切な録音をする場合は、事前にためし録音してください。(万一、本機の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償についてはご容赦ください)
- 録音するときは乾電池ではなく、家庭用コンセントでご使用になることをお勧めします。
- 録音しているカセットのテープが終わりになると自動的に録音が止まります。引き続き反対の面に録音するときはカセットを取り出して反対の面が前面になるように入れ替えてください。
- 音量調節ダイヤルを変えても録音される音量は変わりません。

音声を録音する

電源・機能スイッチが「**TAPE**」の状態、録音するカセットテープを本体にセットして**録音ボタン**を押すと、**内蔵マイク**から音声などを録音することができます。

1

電源・機能スイッチを「**TAPE**」に合わせます。

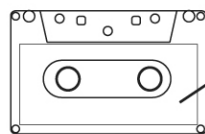


内蔵マイク

2

カセットふたを開いて、カセットテープを入れ、カセットふたを閉じます。

(カセットテープは録音する面が前面になるように入れます)



録音する面



3

録音ボタンを押します。

録音が終わったら**停止ボタン**を押してカセットテープを停止してください。

【お知らせ】

録音のつなぎ目でノイズが入る場合があります。

お手入れ



警告

お手入れの際は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜く

感電やけがの原因になります。

- カセットテープは本体から取り出してください。

本体の汚れは、やわらかい布でふき取ってください。細部の汚れは綿棒などを使用して取り除いてください。

ヘッド部が汚れていると、音質が悪くなったり、音が途切れたり、録音ができなくなる原因になります。定期的に、市販のクリーニングテープを使って清掃することをお勧めします。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 音楽作品を録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）にお尋ねください。

修理を依頼される前に

⚠ 警告

修理技術者以外の方は分解したり修理をしない
感電やけがの原因になります。修理はお買い上げの販売
店、または当社サービスセンターにご相談ください。(20
ページ参照)

故障かな？と思ったときは

「故障かな？」と思ったときは、次の点をお調べください。

このようなとき	お調べいただくこと	なおしかた	参照 ページ
音が出ない	乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池を正しく 入れてください。	9
	電源ケーブルが正しく 接続されていますか？	電源ケーブルを正しく 接続してください。	8
カセットテープ が再生できない	電源・機能スイッチが 「TAPE」になっていま すか？	電源・機能スイッチを 「TAPE」に合わせてく ださい。	14
カセットテープ に録音できない (録音ボタンが押 せない)	カセットテープの録音 消去防止のツメが折れ ていませんか？	ツメの部分にテープを 貼ってご使用ください。	13
ラジオの雑音が 多くうまく選局 できない	アンテナの向きなどが 悪くないですか？	FM ラジオや TV の 1 ～ 3 チャンネルを受信す る場合はアンテナを伸 ばして向きを調整して ください。 AM ラジオを受信する ときは本体の向きを調 整してください。	11

修理サービスを依頼される場合は「保証とアフターサービス」をご覧ください。(→20 ページ参照)

仕様

品番	AG-CR11	外形寸法	215 (W) × 67 (D) × 103 (H) mm
電源	AC100V 50-60Hz または単1形乾電池 × 3	質量	700g
消費電力	5W	トラック方式	1チャンネル 2トラック方式
受信周波数	FM: 76-108MHz AM: 526.5-1606.5kHz TV: 1-3ch	出力端子	イヤホン端子
		スピーカーサイズ	直径 6.5cm 4Ω 1個
		アンテナ形式	FM: ロッドアンテナ AM: 内蔵バーアンテナ

保証とアフターサービス

- この製品には保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間後の修理は・・・
販売店または当社サービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

この製品についてのご質問は

株式会社 シー・シー・ピー 八潮サービスセンター

〒340-0801 埼玉県八潮市八条1477 (名鉄運輸 八潮営業所内)

TEL.048-933-3388 / FAX.048-933-3372

営業日 月曜～金曜 (但し、祝日は除きます。)

お電話受付時間 9:30～17:00

愛情点検

長年ご使用のカセットレコーダーの点検を!



このような症状はありませんか?

- 電源を入れても、ときどき運転しないことがある。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 本体が変形したり、異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常、故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐさまご使用を止めていただき、必ず販売店または当社サービスセンターに点検をご相談ください。



株式会社 シー・シー・ピー

本社：〒111-0043 東京都台東区駒形2-5-4

大阪支店：〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-8-14 肥後橋SKビル4階

TEL. (03)5806-3507(ダイヤルイン)

TEL. (06)6444-2122 (代)